

## 『シャインマスカットを作りこなす! ～開花までの管理～』

佐賀県果樹試験場 落葉果樹研究担当 高須陽介

### はじめに

近年、温暖化の影響により主力である巨峰などの黒色系品種では着色不良が大きな問題となっています。そのため、着色不良の心配が無い黄緑色系品種が注目されており、特に「シャインマスカット」は大粒で食味に優れ、皮ごと食べられことから消費者からの人気が高く、全国的にも栽培が増加しています。佐賀県でも有望品種として導入される生産者の方が増えています。そこで本稿では、3回に渡ってシャインマスカットを作りこなすための栽培管理について紹介します。

### 1. 若木の管理

#### ①若木の育成方法

ブドウは果樹の中でも植付けから果実生産までの期間が数年と短い樹種になります。しかし、シャインマスカットは植付け後、生育初期は果実肥大が不安定で、奇形花の発生率も高い傾向がみられます(表1、表2)。そのため植付けから3年間は主枝の育成を図ることが、大粒で高品質生産を成功させる鍵となります。苗木は新梢を長く伸ばして強く切り戻す作業を繰り返し、充実した新梢を伸ばしましょう。一文字整枝では新梢を1本誘引し、棚上20~30cmまで伸ばし、剪定時に棚下20cm程度まで切り戻します(図1)。H型整枝ではさらにもう一度切り戻しを実施し、H型の樹形となるようにします。主枝候補以外の新梢は生育初期に摘心もしくは芽かぎを行い、目的の新梢以外が無駄に伸長しないようにします。一方、シャインマスカットは他品種に比べ黒とう病に弱いことから、幼木時から屋根かけや防除を行いましょう。また苗木は成木以上に乾燥に弱いいため、定期的なかん水を行って下さい。

表1 シャインマスカットの生育年数が果実品質に与える影響(佐賀果試 2012年)

	果房重 (g)	粒数 (個)	1粒重 (g)	糖度 (Brix)	酸度 (g/100ml)
生育2年目	137.8	28.9	7.0	21.6	0.28
生育3年目	381.5	57.0	8.1	17.5	0.25
生育4年目	714.0	64.9	11.6	18.6	0.22

表2 生育3年目での奇形花の発生率(佐賀果試 2012年)

奇形花率 <sup>y)</sup>	1番花 <sup>z)</sup>	2番花	平均
	(%)	(%)	(%)
シャインマスカット	22.4	29.7	24.9
巨峰	13.1	11.7	12.4

z)新梢基部側から1番目の花穂を1番花、2番目の花を2番花とした

y)奇形花率は、各区全ての花穂中の奇形花の割合を示したもの

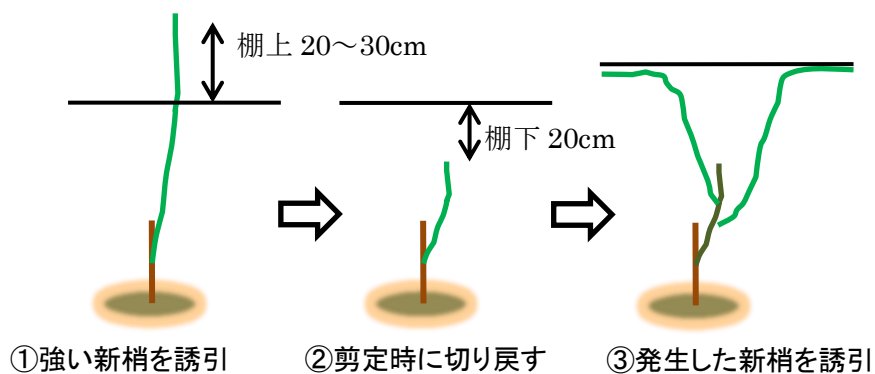


図1 定植1年目の新梢管理（一文字整枝）

## ②芽かき

シャインマスカットは短梢剪定を主流とし、1~2芽を残しての剪定となります。巨峰と比べても芽吹きは良好なため、萌芽後は芽かきを行って下さい。シャインマスカットは樹勢を強く維持する必要があるため、貯蔵養分の消費を防ぐためにも忘れずに処理して下さい。

## 2. 開花前の花穂管理

### ①開花前のストレプトマイシン剤の散布

シャインマスカットはジベレリン処理だけでは完全に無核にならず、有核顆粒が混入することがあるため、開花前のストレプトマイシン剤の散布は必須作業となります。散布時期は満開10日前（展葉8枚程度）にストレプトマイシン液（ストマイ液剤20 1000倍、もしくはアグレプト液剤1000倍）で花房に散布処理を行って下さい。有核栽培「巨峰」の隣接園で、散布すると飛散する恐れがある場合には花房浸漬処理を行って下さい。

### ②花穂の整理

展葉8枚目以降、花穂の良否が確認できるようになったら開花期までに花穂の整理を行って下さい。新梢の伸びが強いものは1新梢2花穂、弱いものは1新梢1花穂に整理します。利用する花穂は、花穂の先端部まで枝柄が詰まっているもの、できるだけ真下に下がった花穂です。一方、先端が分岐または湾曲しているものや花穂全体が細く貧弱な花穂は取り除いて下さい。

### ③花穂整形

花穂整形は開花1週間前から開花始め頃に行います。花穂がほぼ伸びきった頃に行いますが、ジベレリン処理用の目印として残す花穂の肩が咲き始めた頃が花穂整形処理の適期となります(図2)。花穂の先端部を4cm程度残し、それより上部は切り落とします。花穂先端の房尻は原則的には切り詰めませんが、先端が2つに分岐している場合は片方を取り除きます。それ以外の奇形花については先端を軽く切り詰めます。

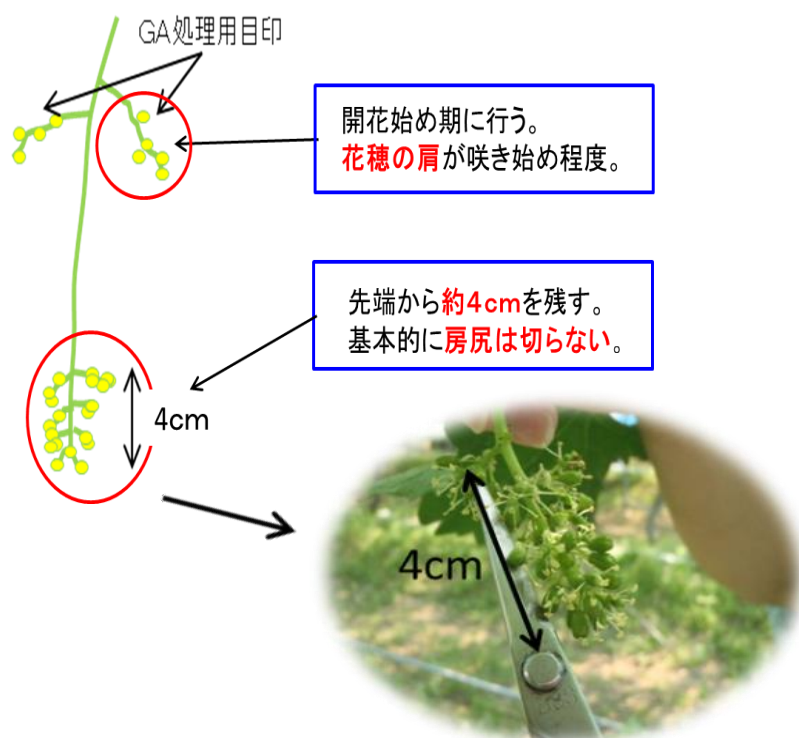


図2 シャインマスカットの花穂整形方法

### ④病害虫の防除

シャインマスカットの耐病性は巨峰並ですが、先にも述べたように黒とう病に弱い品種です。防除が不十分であると病害虫の発生により果実品質を損なう恐れがあるため、定期的な防除をしっかりと行って下さい。開花前には、ホウ素欠乏対策としてほう砂を混用して防除すると効果的です。